

平成29年度 農業科 (ハイテク農芸科)

教科	農業	科目	野菜	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「野菜」 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

我が国で生産、消費されている主要な野菜について、農場での栽培活動と教室での学習を両輪に学ぶ科目です。実習では生育の様子をよく観察するとともに、実践的な技術の習得に努めましょう。座学では野菜の生理・生態的な特性や生産に適した環境及びそれらと生育の相互関係などの基本を理解するとともに、生産と経営の現状や今日的な課題について考えを深めましょう。

2 学習の到達目標

- ・野菜生産に必要な知識と技術を体系的に習得する。
- ・生産と経営の今日的課題について関心をもち、考えを深める。
- ・野菜生産の社会的役割を理解し、農産物生産に関する分野における自らの職業生活について考える。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	野菜の生理・生態的な特性や生産に適した環境及びそれらと生育の相互関係について興味・関心を持ち、学習に意欲的に取り組むとともに、関連する実践的な栽培活動を通してさらに理解を深めようとする態度を身に付けている。	野菜の生理・生態的な特性や生産に適した環境及びそれらと生育の相互関係の理解を基盤に、実践的な栽培実習における諸課題の解決をめざして思考を深めるとともに、生産と経営の今日的課題を含めて、課題を適切に判断し表現する創造的な能力を身に付けている。	野菜の生理・生態的な特性や生産に適した環境及びそれらと生育の相互関係に配慮した技術を身に付け、その技術を総合的、体系的に理解するとともに、野菜栽培に関する科学的な見方を身に付けている。	野菜の生理・生態的な特性や生産に適した環境及びそれらと生育の相互関係についての基本的な知識を身に付け、野菜生産の社会的役割の重要性を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 その他	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査 その他	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査 その他	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査 その他
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	野菜の特性と栽培技術	種類と特徴 生育と生理	○	○		○	a:野菜の特性と栽培技術、野菜の生産およびその実践について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:野菜の特性と栽培技術、野菜の生産およびその実践について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 夏野菜の栽培における基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 野菜の特性と栽培技術および野菜の生産について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート等 定期考査
	野菜の生産	育苗 栽培(タマネギ、ナス、キュウリ、トマト)	○		○			
	野菜生産の実践	夏野菜の栽培技術	○		○			
2 学期	野菜経営の改善	生産と流通の改善	○	○		○	a:野菜経営の改善、野菜の生産およびにその実践について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 野菜経営の改善、野菜の生産およびにその実践について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 秋冬野菜の栽培における基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 野菜経営の改善および野菜の生産について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート等 定期考査
	野菜の生産	施設と土地の高度利用 栽培管理 商品化	○		○			
	野菜生産の実践	秋冬野菜の栽培技術	○		○			
3 学期	野菜生産の役割と動向	野菜の生産と利用 野菜の需給の動向	○	○	○	○	a:野菜生産の役割と動向について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 野菜生産の役割と動向について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 野菜生産の役割と動向における諸課題について検討する基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 野菜生産の役割と動向について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート等 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。